



すぎ 杉っ子

令和8年6月23日 発行
学校だより 第3号
射水市立小杉小学校
TEL 0766-55-1055
E-mail kosugi-e@imizu.ed.jp

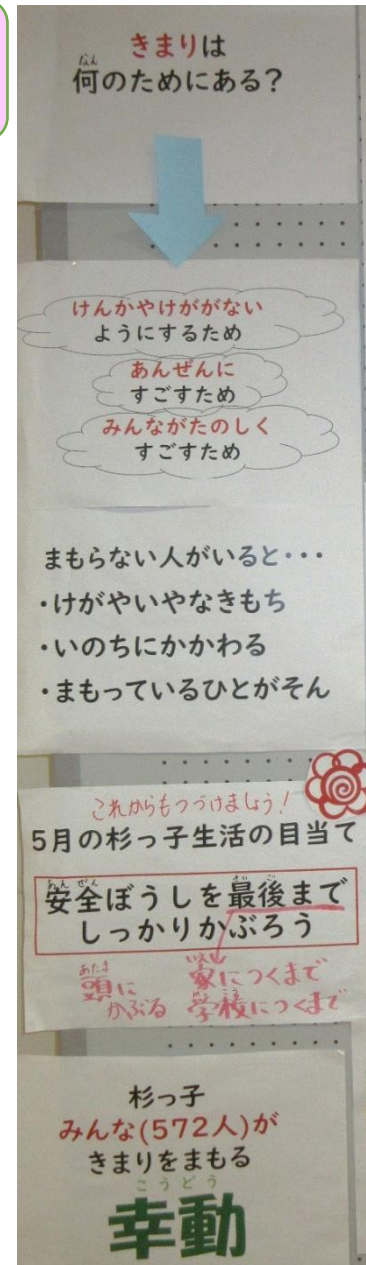
幸動：しあわせ名人への道

杉っ子のきまりが全校に浸透するように、生徒指導担当の先生が、今年度の杉っ子の目標の一つである「幸動：しあわせ名人」に結び付けて、呼びかけています。

まず、生活委員会で「きまり」が何のためにあるかを話し合いました。その意見を紹介しながら、5月の目当て「安全帽子をかぶる」ことを呼びかけました。各担任が学年に合わせた説明や振り返りを行い、全教職員が声かけを続けたことで、学校全体では花丸の結果となりました。安全帽子をかぶることは、大切な頭をけがから守り、黄色で存在をアピールし、暑い日には熱中症予防にもなります。杉っ子みんなが、これからも安全帽子をかぶって登下校する日が続くとみんなが安全に過ごせる、つまり幸動：しあわせ名人に近づいていくのです。6月の目当ては「授業の準備と始まりをバッチリにしよう」です。各自が自分に合った目当てを決めて取り組んでいます。ご家庭でも話題にいただけると、しあわせ名人にさらに1歩近づけるとと思います。

「こう動～行動、考(口)動、幸動～：3つの名人」については、学校行事等において子供たちに具体的に伝えるようにしています。

「幸動：しあわせ名人」を取り上げますと、色団結成集会では縦割りグループで全員が自己紹介を伝え合えるように待ったり励ましたりすること、避難訓練では命を守る約束に沿って行動すること等です。自分ができそうなことから挑戦し、少しずつ自分の力にする。そして、well-being を目指して行動できる「幸動」の考えや動きが当たり前になる。「愛のこころ：仲よく、思いやりのある杉っ子」を目指して、教職員みんなで声をかけていきます。



【1階通路の掲示物】

玄関にさなぎが!!

6月18日の登校時、虫が大好きな2年生の男の子が、児童玄関の扉にくっついていいるさなぎを見付けました。幼虫の時はどこで餌を食べ、いつの間に扉に上ってさなぎになったのか不思議です。いつ、どんな蝶(たぶんそうだと思います)になるのか、みんなで見守っています。



学校訪問研修会がありました

6月16日に西部教育事務所の先生方、市教育委員会の先生方にお越しいただき、子供たちの学習の様子をご覧いただきました。今年度は本校が国語科の推進校として、県内に国語を中心とした学習について発信していくことは学校だより2号に書いたとおりです。この日の午前中に九つの国語の授業を見ていただきました。



1年生：学校探検で見付けたお気に入りの場所とそのわけを友達に分かりやすく話そう
⇒始めに場所、次にわけを言うといいな。



3年生：友達のことをよく知るために、合う言葉を選んで質問しよう ⇒ 「いつ、どこで、だれが」などを使うとよく分かるな。



4年生：大事なことを落とさずに聞くために、メモの取り方を工夫しよう ⇒ メモは、短く、箇条書きで、短時間で書ける文字で書こう



6年生：相手の考えを引き出すためのインタビューのこつを考えよう ⇒ 繰り返しや確かめでスムーズに進む。追加の質問や自分の考えを入れよう。

午後からは四つの部会に分かれて研修会を行い、子供たちの姿から教師の手立てのよさや改善点を話し合い、私たち教師がこれからどうしていくかを確認しました。また、事務所や市教委の先生方からは、子供たちが自分の学びをつくり上げていくために大切にすることを教えていただきました。併せて、子供たちが元気に挨拶をできることや、友達や先生の話聞いてよく考えていること、タブレットを効果的に使っていることを褒めていただきました。これからは、安心して楽しく対話できる集団づくりとともに、子供が進んで取り組み、人と関わりながら考えをつくっていきける授業づくりを目指します。

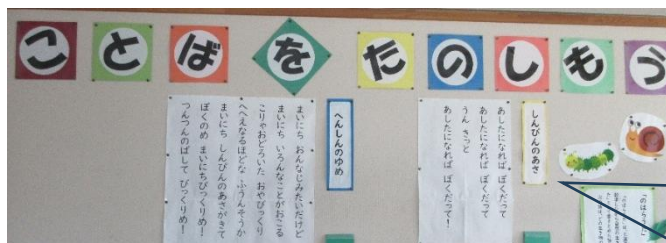
言葉に親しむ環境づくり

先生方は、先の学年部会での授業研修と併せて、ことば部会にも所属して研修に取り組んでいます。ことば部会のひとつ「環境部会」の取組を紹介します。



☆話す・聞くの「相言葉」・・・なぜ「相」なのでしょう。それは、話すことや聞くことは、相手に伝わるよう、相手を大切にすることが必要だからです。「あ・い・こ・と・ば」を頭文字としたポイントを、部員で知恵を絞って考え、一つずつ重点として全校で取り組んでいます。例えば「こたえとわけ」は、「伝えたいこと(こたえ)を先に言い、その理由(わけ)を後に言うと相手に伝わりやすくなる」ことを表したポイントで、上記の1年生の学習です。1年生から、話すときに大事なことを学習しているのですね。

☆季節の詩・・・児童玄関に、春の詩やイラストが掲示してあります。短い言葉に大きな力があることを感じられる子供たちになってほしいです。来校の際にはぜひ足を止め、味わってください。



しんびんのあさ
工藤 直子
あしたになれば
ぼくだって
あしたになれば
ぼくだって
うん きつと
あしたになれば
ぼくだって
（「のはらうた」より）